



# 海況予報診断統合システム学 早稲田研究室

## こんな問題に取り組んでいます

数値シミュレーション、室内実験、そして外洋での観測により、太平洋から沿岸海域の海流や海洋波の生成するメカニズムを解明し、予測から応用までを統一するシステムを構築することを目標に、さまざまな研究に取り組んでいます。

## こんなことがわかってきました

例えば、外洋に突発的に発生する巨大波(フリークウェーブ)が、特殊な気象条件下で生成しやすいことがわかりました。また、黒潮の流れが魚の卵をどのように運ぶか、島陰の黒潮の流れの微細構造がどのようになっているのかがわかってきました。

## 研究の成果はこんな分野に活かされます

外洋を航行する船舶の安全のために、高解像度の波浪シミュレーションを海流や風の情報と併せて行っています。また、海流や潮流シミュレーション結果は、オリンピックのセーリング競技支援、海流・潮流発電の資源量推定などに、活かされています。

関連展示: 鈴木・早稲田実験室(環境棟172)

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻  
早稲田卓爾 <waseda@k.u-tokyo.ac.jp>

